

## 院内がん登録データ全国集計の分析

奥山 絢子

(国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター 院内がん登録分析室)

院内がん登録では、病院のがん医療の状況を適確に把握するため、全国のがん診療連携拠点病院等をはじめとするがん診療を行っている病院から当該病院におけるがん患者について、全国がん登録情報よりも詳細な治療の状況を含む情報を収集し、データ分析を行っている。本院内がん登録データベースを活用することにより、病院では、がんの罹患、転帰等の情報を的確に把握し、治療の結果等を評価すること及び他の病院における評価と比較することにより、がん医療の質の向上が図られること、そして国立がん研究センターでは、専門的ながん医療を提供する医療機関の実態把握に資することが求められている。更に、病院や国立がん研究センターにおいて、院内がん情報等を適切に公表することにより、がん患者及びその家族等の医療機関の選択等に資することが期待されている。

院内がん登録全国集計は、2007年診断例から開始し、今年公表した2017年全国集計報告書は、11回目の報告となる。2011年診断例からはがん診療連携拠点病院等だけでなく都道府県から推薦された病院、そして2017年診断例からは任意で参加を希望する病院からもデータを収集し、2017年全国集計報告書では、842施設から約102万件（上皮内がん等を除くと約89万件）のデータ分析を行った。院内がん登録全国集計では、病院のがん診療実態把握のために施設別集計結果を2008年診断例より公表してきた。施設別集計結果の公表に関して、当初は批判の声もあったと伺っている。現在、院内がん登録分析室では、こうした施設別集計結果をより皆様に活用していただけるよう2016年診断例からは報告書のPDFだけでなく、院内がん登録全国集計結果閲覧システム (<https://jhcr-cs.ganjoho.jp/hbcrtables/>) から閲覧できるようにシステム開発を行った。現時点では、胃癌、大腸癌（結腸癌、直腸癌）、肝臓癌（肝細胞癌、肝内胆管癌）、肺小細胞癌、肺非小細胞癌、乳癌、食道癌、膵臓癌、前立腺癌、子宮頸癌、子宮内膜癌、膀胱癌、甲状腺癌（乳頭・濾胞癌、未分化癌、髄様癌）、胆嚢癌、喉頭癌、腎癌、腎盂尿管癌について、施設別に自施設初回治療開始例の病期別、治療方法別登録数を閲覧することができ、施設での診療実態の把握に活用していただきたい。

## 御経歴

令和元年 10 月 30 日現在



奥山 絢子 (おくやま あやこ)

### 【学歴及び職歴】

- 2001 年 大阪大学医学部保健学科卒業 (看護師、保健師、助産師)
- 2001 年 慶應義塾大学病院 NICU 勤務
- 2007 年 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程修了 (保健学修士)
- 2007 年 大阪大学医学部保健学科総合ヘルスプロモーション科学講座助教
- 2010 年 オランダ王国アルクマールメディカルセンターBijnen 教授のもと患者安全に関する研究に従事
- 2011 年 VU メディカルセンターWagner 教授のもと患者安全に関する研究に従事
- 2012 年 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻助教
- 2015 年 大阪大学大学院医学系研究科看護学専攻博士後期課程修了 (保健学博士)
- 2015 年 国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター研究員
- 2018 年 国立がん研究センターがん対策情報センターがん登録センター院内がん登録分析室室長

### 【学会及び社会における活動等】

- 2015 年 日本癌治療学会がん診療ガイドライン委員会制吐薬適正使用ガイドライン改定ワーキンググループ協力委員
  - 2019 年 日本癌治療学会がん診療ガイドライン委員会制吐薬適正使用ガイドライン改訂ワーキンググループ委員
- 所属学会：医療の質・安全学会、日本看護管理学会、日本公衆衛生学会、日本疫学会

### 【受賞歴】

- 2012 年 オランダ王国アルクマール・メディカルセンターピーターファンフォレスト賞受賞
- 2015 年 医療の質・安全学会第 1 回上原鳴尾記念若手研究奨励賞最優秀賞受賞